

Frente

三重県男女共同参画センター
フレンテみえ
フレンテとはスペイン語で
「前向き」という意味です。

vol.70
2017.8

秋の

イベント
大特集!!

男女共同参画フォーラム ～みえの男女2017～

減災・復興と男女共同参画 ～地域・企業・行政がいまでできること～

フレンテみえ「カラダの日」

女性のこころと体セミナー ～更年期を気持ち良く過ごすために～

男性講座 知って得する男の更年期 ～3代から考えるからだメンテナンス～

「暮らしを守る、カラダを守る」

予告

- 女性に対する暴力防止セミナー
一人芝居「電話の女」
- 地域リーダー養成講座
in 尾鷲 男女共同参画編 など

不定期連載インタビュー

- フレンティが聞く！みえのひとびと
全国男性看護師会 代表 前田 貴彦さん

Report!

- フレンテまつり2017
with イザ！カエルキャラバン！
- 子どもができたあなたへ
育休中に描くママのこれからの働き方 など



秋の

イベント
大特集!!

男女の視点で「防災」を考える

男女共同参画フォーラム

～みえの男女2017～

11月
11日

減災・復興と男女共同参画

～地域・企業・行政がいまでできること～

同時開催：「第30回 農山漁村のつどい」



熊本地震から1年、東日本大震災から6年。数々の大震災を経たこの国では今、「防災・減災の現場における男女共同参画の視点の重要性」が認められ、対策が進められています。

今年度のフォーラムは、いつ起こるか分からない大規模災害、その来たるべきときに向けて、避難生活や復興の場面における多様性への配慮について、様々な情報・意見交換を行います。そこから地域住民・企業・行政が何をすべきか、それぞれの備えに加え、様々な連携のあり方やその必要性について考えます。

さらに今年度は「第30回 農山漁村のつどい」との共同開催。第一次産業分野での取組についても学び合える分科会をはじめ、産直品販売も実施予定です。皆さままでぜひご参加ください！

日時：平成29年11月11日(土) 10:00～15:30

会場：三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」
多目的ホール ほか

主催：三重県・三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

共催：「第30回 農山漁村のつどい」実行委員会

主な実施内容(予定)

分科会 (10:00～11:45)

『農山漁村における“共助”とは

～減災・復興と多様性について考える～』

❖ コメンテーター：

浅野 幸子さん(減災と男女共同参画研修推進センター共同代表)

石垣 弘美(三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」所長)

❖ 共催：「第30回 農山漁村のつどい」

このほか、『みえの防災対策』、『避難所生活における多様性配慮』、およびフレンテみえ登録団体による公募ワークショップを合わせ、4つの分科会を開催予定です。

基調講演 (13:00～13:30)

❖ 講師：

佐谷 説子さん

(内閣府政策統括官(防災担当)付参事官《普及啓発・連携担当》)

パネルディスカッション (14:00～15:30)

❖ コーディネーター：

浅野 幸子さん(減災と男女共同参画研修推進センター共同代表)

❖ パネリスト：

松浦 信男さん(万協製薬株式会社 取締役社長)

山本 康史さん(特定非営利活動法人みえ防災市民会議 議長)

坂三 雅人さん(三重県防災対策部 次長)

佐谷 説子さん

(内閣府政策統括官(防災担当)付参事官《普及啓発・連携担当》)

ほか

地域リーダー養成講座

10月
21日

in 尾鷲 男女共同参画編

日時：平成29年10月21日(土) 13:30～16:30

会場：尾鷲市中央公民館

主催：尾鷲市・三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

今年の地域リーダー養成講座は尾鷲市で開催します。

大地震が起きれば甚大な被害も予想される東紀州地域。

災害の被害を最小限にするためには、迅速・確実な避難とともに、すべての避難者にと

って安全・安心な避難所づくりが求められます。避難生活で抱えがちな問題とはどういったものか、また、そのリスクを最小限にするために、避難所を運営する地域コミュニティが日頃から身につけておくべき意識とはどういったものなのかを講義・ワークを通して学びます。



男女の視点で「体」を考える

今年の10月14日はフレンテみえ「カラダの日」。今回は男女ともに更年期に感じる体の不調について考えます。

女性のこころと体セミナー

10月
14日

更年期を気持ち良く過ごすために

『なんだかイライラしたり、気持ちが沈んだり不安定に…』
『からだのだるさや、ほてり・冷えも気になる』
『更年期っていつになったら終わるのだろう…』

更年期の女性たちの多くが抱える症状。これはホルモンバランスの乱れによって引き起こされてしまいます。

しんどい毎日をなんとかやり過ごしている方は多いのではないのでしょうか。

講座では、女性ホルモンや女性特有の病気のことなど、知っておくべき体の知識を学びます。また、呼吸法やセルフマッサージ、気軽にできる運動方法など、日常生活で自分でできるセルフケアを体験。自分のこころとからだを客観的に見つめるため、健康チェック(骨密度の測定、ストレスチェックテストなど)などへの参加もできます。

開催日：平成29年10月14日(土)

13:30~15:30

会場：三重県文化会館第1ギャラリー

対象：女性

定員：40名

講師：大平肇子さん

(三重県立看護大学母性看護学教授)

仕事に家事・育児・介護、忙しい毎日の中でホッと一息、自分を大切に
にする時間に。そして何より楽しく自分のからだと向き合しましょう！

昨年の参加者の声

- 更年期の症状に集中するよりも、からだ・生活を見直すチャンスと捉えていきたい。
- 女性同士、からだの悩みごとなど話せて楽しかったしとっても参考になった。

協力：大塚製薬株式会社、

公立大学法人三重県立看護大学 地域交流センター

男性講座

10月
14日

知って得する男の更年期 ~30代から考えるからだメンテナンス~

「更年期に不調を感じるのは女性だけ」そんな風に思い込んでいませんか？

実は男性も更年期特有の不調を感じることもあり、「やる気がでない」「イライラする」「いつも不安を感じる」といった精神的な症状や「ほてり」や「のぼせ」、「性欲減退」といった体の症状など、様々な不調がおこります。

しかし、男性の更年期の症状はあまり知られておらず、誰にも相談できずに我慢している方や、どのように自分の体をケアしたらよいかわからない、という方も多いのではないのでしょうか。講座では更年期に起こるからだの変化、それにより引き起こされる不調やその対処方

法などを学びます。また更年期の不調を和らげるためには、更年期前から積極的に自分の体について考えていくことが大切です。今まさに更年期の不調を感じている方だけでなく、これから更年期を迎える世代の方も、今から何ができるのか、一緒に考えてみましょう。

さらに、当日は更年期の不調以外にも男性の体にまつわる様々なブースもご用意する予定です。「更年期はまだ早いかも…」と考えている方も、新たな発見があるかもしれません。

いつも頑張っている男性の皆さん、たまにはゆったりと自分の体を見つめてみる機会をつくりませんか。お気軽にご参加ください。

開催日：平成29年10月14日(土) 13:30~15:30

会場：三重県文化会館第2ギャラリー

対象：男性

定員：40名



10/28

第4回 ^{シングル}独身のための座談会的カフェ

今年も開催！
Let's Go! ^{シングル}独身限定座談会

お茶を飲みながらリラックスしてお話をさせていただくカフェ形式の講座です。普段、身近な人たちには打ち明けることも聞くことも出来ないけれど、同じ^{シングル}独身同志で集まって、これからの生き方や考え方など感じている「想い」について、語り合います。

性別に関係なく、年代の近い^{シングル}独身同志と一緒に話してみませんか。



日時 10月28日(土)
15:00~16:30

会場 フレンテみえ 情報コーナー
レクチャースペース

対象 30代~40代の結婚未経験の男女
で、本講座の参加が初めての方

定員 10名
(先着順)

11/11
~25

内閣府「女性に対する暴力をなくす運動」 総文パープルライトアップ2017

毎年、11月12日から25日は、「女性に対する暴力をなくす運動」(パープルリボン運動)期間です。

内閣府の調査によると、女性の約4人に1人がDV(配偶者等からの暴力)被害にあっています。そして、被害を受けた女性のうち約9人に1人が、その暴力によって「命の危険を感じたことがある」と答えています。

フレンテみえでは、女性に対する暴力根絶の願いを込めて、シンボルの「パープルリボン」にちなんだパープル・ライトアップイベントを開催します。秋の夜は、ぜひ総文パープルライトアップ2017にお越しください。

日時 11月11日(土)
~25日(土)
各日17:00~21:00

会場 三重県総合文化センター
祝祭広場 ほか

11/19

女性に対する暴力防止セミナー 一人芝居『電話の女』

5年ぶりにかかってきた古い友人からの1本の電話。他人事だと思っていた友人の悩みが、私の生活に侵入し始める…。話を聞くうちに、私と夫の間にある、見えなかったものが見えてくる…。

今年度の『女性に対する暴力防止セミナー』は一人芝居という今までになかった切り口で開催します。ミステリー展開のストーリーで、観た人に多くの課題やメッセージが伝わる内容です。出演はさかした日出美さん。女性の内面を独特の雰囲気とセリフ回しで演じる魅力的な女優です。

上演終了後は、劇を企画し、DV被害者支援に関わってきたグループの経験を、会場とのやり取りを交えてお話いただきます。たくさんのお申し込みをお待ちしています。

日時 11月19日(日)
14:00~15:30

会場 三重県文化会館
レセプションルーム

対象 全ての方 定員 60名

主催 三重県・
三重県男女共同参画
センター「フレンテみえ」

その他

❖ 職場でも！家庭でも！きつと役立つ

男性のためのコミュニケーション講座 ~ 知っておきたいアサーティブ2 ~
日 時：平成29年9月9日(土)、10日(日) (両日とも13:30~16:00)

対 象：20~40歳代を中心とした男性

※9日はこの講座が初めての方が対象。10日は前年度の本講座受講者、および今年度の初回(9月9日)の講座受講者が対象。

❖ 女性のための離婚講座

~ 知っておきたい法律の知識 ~

日 時：平成29年9月13日(水) 10:00~12:00

対 象：離婚を考えている女性

詳しくは……



みえの ひとびと

第7回

『看護師』と聞くと、女性の姿を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。職場での女性活躍が進むなか、実は男性が少数派となる職業もまだまだ残っています。

そこで、今回は男性看護師の交流会などを行っている『全国男性看護師会』代表を務める前田貴彦さんにお話を伺いました。



全国男性看護師会 代表 前田 貴彦 さん

全国男性看護師会を設立したきっかけを教えてください。

僕は津市出身なんですけど、そもそも昔は男性が看護を学ぶことができる学校が僕が探した範囲ではこのあたりだと三重大学しかありませんでした。今では考えられないですが、専門学校では受験資格が女性のみ、という学校も多くありました。そんな状況だったから、自分が看護学生だった時、男性は5人だけ。実習で大学病院に行っても、男性看護師の方はほとんどいなくて、自分が将来どうなるのかもわかりませんでした。

当時は今のようにSNSもなく、男性看護師のネットワークもなかったもので、いつか男性看護師のコミュニティを作りたい、と学生の時から考えていました。大学に教員として戻ってきて、徐々に三重県の男性看護師とも顔見知りになり、彼らも男性看護師のコミュニティの必要性を感じていることを知り、まずは三重県で男性看護師のネットワークを作ろうと思い、全国男性看護師会の前身となる『三重男性看護師会』を作りました。そこからシンポジウムを開いたのがきっかけで『全国男性看護師会』と名前を変え、組織を大きくしたというのが始まりです。

『全国男性看護師会』では男性看護師の交流会を開いているとお聞きしましたが、そこではどのような話が出てきますか。

多くの方が想像するような環境面に関しては良くなってきていますので、あまりそういった声は聞かれません。ただ、当時自分が働いていた病院のように古い施設では、病棟に男性用トイレがなくて患者さんと同じトイレを使っていたり、更衣室や仮眠室がないといった、ハード面でのことや、男性看護師の認知度が低いことでの苦労はありました。患者さんから「医師」と思われて、「先生」と呼ばれることもありましたし、自分が看護師だと伝えても、「男の看護師なんているの?」という反応をされたりしました。

看護の仕事は女性がするもの、と思っている人からは、「女性に看護をしてもらいたい」、と言われてしまうこともあるのでしょうか。

ほとんどの男性看護師が経験していると思います。特に女性の排泄やお風呂の介助なんかは特に多いです。ただ、逆に男性の患者さん、特に思春期の子どもからは「男性のほうがいい」と言われることもあるので、役割分担が大事だと思います。そもそも看護の仕事のなかで、「男性だからできない仕事」や「男性だからできる仕事」というのは基本的にないはずなんです。僕は看護の現場に男性と女性両方がいることで、より患者さんのニーズに寄り添うことができると考えています。それに年齢によっても違ったニーズがあるかもしれない。いろんな人が看護の現場にいて、今以上に患者さんのニーズに寄り添うことができると思います。

看護師を目指す男性自身が「男が看護師を目指していいのだろうか」といった心理的な壁を感じることもあるのでしょうか。

やっぱりまだまだあります。自分の将来がどうなるのか、という不安やそもそも男が看護師になっていいの?と感じている人もいますし、親が反対する、ということもあります。不安はたくさん持っているのですが、現実としてそれを解決する場があまりありません。看護の道に入ってしまうとある程度情報は入りやすくなりますが、看護の道に入る前の高校生、中学生といったこれから職業選択をする世代が情報を得にくいというのが大きいです。

男性だから感じることもとしてもう一つあるのは、キャリアのビジョンが女性と比べると見えにくいという点ですね。そこは大きいです。病院だと看護部長の職についている方もいますが、女性と比べると男性でその職についている人の数は圧倒的に少ないです。その理由はそもそも男性看護師の絶対数が少ないこと、それからまだまだ若い人が多いというのがあります。ただ看護部長になる男性はだんだん増えてきています。なので、男性だから役職に就けないわけではないと思います。

ただそれでも女性に比べると圧倒的にモデルは少ないし、身近にモデルがいなくても多いというのは男性ならではの苦労だと思います。

中高生に向けて、『全国男性看護師会』として何か活動しているのでしょうか。

『全国男性看護師会』では「ナースマン・スクール」という活動を行っています。これは男子高校生を主な対象としてスタッフも全員男性で、看護系の学生や看護の現場で働く人が担っています。そこで看護の体験ができるほか、学生から直接話を聞いたり、臨床の話も聞いたり、普段疑問に思っていることを聞ける場を設けています。

これから看護師を目指す男性に向けて、メッセージをお願いします。

男性に限った話ではないですが、命に向き合う仕事なので大変なことはたくさんあります。だけど、それでも患者さんから感謝されたり、患者さんにより良い看護が提供できたりすると、自分たちもとてもうれしいです。看護は形がないから、自分たちで作っていけることがたくさんあって、これからの可能性がとても大きい仕事です。すごく楽しいので、多くの方に看護師を目指してほしいです。男性に対しては、まだまだ男性看護師は少ないですが、看護の現場に男性が入ることは、患者さんにとってはすごく意味のある事なので、目指す人が増えてくれるとうれしいです。苦労もあるけどそれ以上にうれしいこととか、楽しいこととか、やりがいがあることとあるので、積極的に看護師を目指してほしいと思います。



モデルの少なさを感じる若い男性看護師たちのためにも、自分のような上の世代が声をあげていく必要があるとおっしゃる前田さんからは、他にもいろいろなお話を伺いました。掲載しきれなかった全文はHPにて後日公開予定です。お楽しみに!

フレンティみえ

検索

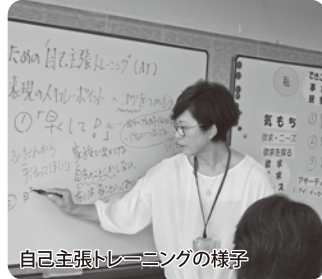
Event Report

女性のための

①自己尊重トレーニング ②自己主張トレーニング



自己尊重トレーニング
気功体験の様子



自己主張トレーニングの様子

「家族や周りの人の気持ちを優先して、自分のことはつい後回しにしてしまう」

「相手の気持ちを考えすぎて、自分の気持ちが言えない・・・」

フレンテみえ相談室では、女性からこのような声が多く寄せられています。そこで毎年、自己尊重トレーニングおよび自己主張トレーニングを開催しており、今年も定員を大幅に超える申込がありました。

これらの講座では、ワークやグループの話し合いを通じて、女性が抱えがちな悩みに潜む背景を考えながら、自分自身の気持ちや悩んでいる思い込みに気付いていきました。

参加者同士の語り合いでは、お互いに勇気づけられる場面もあり、両講座とも温かな雰囲気の中進められました。講座を通して、他者からの期待

講師

① 杉本 志津佳さん

(フェミニストカウンセリング堺フェミニストカウンセラー)

② 具 ゆりさん

(ウィメンズカウンセリング名古屋YWCAフェミニストカウンセラー)

開催日

① 5月10日・17日・24日・6月7日・14日(各水曜日)

② 6月10日・17日・24日・7月8日・15日(各土曜日)

や思い込みによって見失っている自分本来の力を取り戻し、まるごとの自分を大切にしたいのだと思うこと、また、自分の気持ちを人に正直に伝えてもいいのだと思えるような内容でした。

今後も、じっくりと気持ちを見つめ、自分を語るトレーニングの場として、グループ「青空」と「ホタル」が発足しました。

参加者の声

- とても新鮮で楽しかった。自分をゆっくりと見つめ、気づきを得る時間でした。
- 知らなかったことを知ることができ、自分が少しでも変わることができる可能性を知りました。

情報コーナー ミニセミナー

育休ママのつどい

『子どもができたあなたへ。』

育休中に描くママのこれからの働き方』

開催日 6月8日(木)

産休・育休中のママたちで集まって、復帰後の不安やこれからの自分の働き方について、みんなで話しあいました。

子どもと少しの時間離れ、それぞれの思いを話したり先輩ママの経験談やアドバイスを聞いたりする中で、「働くことにポジティブになれた」「全部自分で完璧にやろうと考えなくていいのだと思った」「育休を新たな価値観を得る機会と前向きに考えられるようになった」などの声が聞かれ、子育て中心の毎日の中、復帰後の仕事や生活についてもそれぞれ具体的に考えることができる時間となりました。



参加者の声

- 育休中を前向きに考えられるようになりました。
- 働くことに関してポジティブな意見がたくさん聞けてよかったです。

結婚生活が息苦しい・・・ モラハラについて考える Part.1

開催日 7月13日(木)

結婚生活におけるモラハラについて、知っていただく講座を開催。DVとはどういうものか、暴力による影響とそれを乗り越えるための方法等の講義や今の自分の状態を知るチェックリストの他、リラクゼーション等自分を大切にできる時間を持ちました。

始めの緊張した空気は徐々にほぐれ、最後のワークでは参加者同士声をかけ合い温かい雰囲気となりました。

今年度は参加者による語り合いの機会を別途予定しています。また今回と同じ内容の講座を2018年2月7日にも開催します。

参加者の声

- 自分の立場や悩む日々を少し整理できました。
- 同じ思いで苦しんでいる人がいると知り、自分一人ではないと思いました。

第2回

「女性の自立を世に問うた歌人 柳原白蓮」

河原 徳子(朗読文学サークル パティオ主宰)

柳原白蓮は明治18年に伯爵の父の娘として東京に生まれました。生母は旗本の娘でしたが、明治維新後は芸妓となった人です。

白蓮といえば、村岡花子との出会い、九州筑豊の炭鉱王との結婚、宮崎龍介との出会い、夫への絶縁状を新聞紙上に載せた「白蓮事件」で有名ですが、女性の自立を世に問うた平和運動の活動家だったことこそ、忘れてはならない白蓮の真実の姿です。

シャンデリアの光輝くイメージの「燦子」が白蓮の本名。父の妹が大正天皇の生母ということですから、白蓮は大正天皇のいとこに当たるのです。本来なら、なんの苦勞も無く、華族の人間として庶民からかけ離れた人生を送った筈の女性でした。

しかし、白蓮は常に自分に問うていました。「女性の自立とは何なのだ?」と。柳原家分家の子爵の養女となり、結婚した時も、その生活に疑問を抱き離婚しています。23歳で東洋英和女学校に入学して村岡花子と出会い、学問への情熱を抱くようになります。

その後、25歳年上の炭鉱王伊藤伝右衛門と結婚します。白蓮を迎えるにあたって増改築され贅を尽くした邸の中で「筑紫の女王」の生活を送りますが、やはり彼女は自分に問い続けるのです。

誰か似る鳴けようたへとあやさる緋房の籠の美しき鳥

籠の鳥では居られなかった白蓮は、姦通罪が存在したこの時代、宮崎龍介という東京帝大法科の学生と恋に落ちます。700通の恋文は読んで圧倒されます。世間を揺るがす「白蓮事件」は、白蓮

の人生における多くの束縛と忍耐からの飛翔でした。

様々な困難を越えて結婚生活が始まります。華族を除籍され一平民となり自由になった白蓮は、文筆業で結核を病む龍介や家計を支えました。宮崎家は無産階級の人々を支援する労働運動に専念した家でしたから、白蓮もその中で庶民的な応対を身に付け、吉原の遊廓に売られた女性を救出したりしています。かつての「女王」は暴力団に追い回されるような危険と隣り合わせの活動をする女性となっていたのです。

愛する人と二人の子どもに囲まれ、温かな家族の短歌を紡ぐ日々が流れましたが、太平洋戦争の学徒出陣で息子を失います。悲しみを乗り越えて平和運動の活動家となった白蓮は、突き抜けた哀しみと穏やかさに充ちた生活の中、81歳の生涯を終えています。

わが肩に子がおきし手の重さをばふと思ひいづる夏の日の雨

河原 徳子

- 徳島生まれ
- 日本文学研究家
- 三重県生涯学習センター講師
- 「朗読文学サークル パティオ」(4部門)主宰
- 三重県立図書館・鈴鹿市民大学文芸学科・愛知県豊明市立図書館・安城市立図書館・知立市立図書館・菟野町文学講座・五十鈴塾文学講座・亀山市文学講座その他で、古典文学から近代文学まで講座講師を務める
- 鈴鹿市文芸賞選考委員
- 鈴鹿市文化振興ビジョン策定委員
- 主な著書『となりの文豪』(風媒社)



Event Report

フレンテまつり 2017

with イザ!カエルキャラバン!

開催日 7月2日(日)

毎年、フレンテみえ登録団体の皆さんの交流・活動発表の場として実施している「フレンテまつり」。今年も団体ごとに工夫をこらした、様々なブースが展開されました。

また今年も、昨年好評だった「楽しく防災」と「おもちゃのかえっこ」を組み合わせたNPO法人プラス・アーツ考案の「イザ!カエルキャラバン!」を同時開催し、おもちゃと交換できる「カエルポイント」を集めるため、子どもたちがいろいろなブースに繰り返し参加する姿が見られました。

防災、減災にも「男女共同参画」の視点はとても重要です。フレンテまつりでは、「イザ!カエルキャラバン!」の防災プログラムに加え、男女共同参画の視点をもつことで軽減できる災害時の困難などについても、紙芝居やパネルクイズで発信しました。

この日は全国ニュースにでるほどの猛暑日となりましたが、多くの家族連れでにぎわい、「フレンテみえ」や「男女共同参画」、フレンテみえ登録団体の活動について、若い人にも知ってもらい、体験し、考えることのできる機会となりました。



4回シリーズ「三重県の男女共同参画の最近の動きと、これから」第2回目

前三重県男女共同参画審議会会長 佐伯 富樹



県の「参画」の進み具合について



第2回目は、私が日頃感じている県内の「参画」状況について、テーマを絞りお話ししたいと思います。

最初は、県の推進条例第2条の「総論」部分に規定されている「積極的改善措置」です。一般的には、ポジティブ・アクション(PA)とよく言われ、県の条例によれば、女性に対して「参加する機会を積極的に提供」することです。PAの実現方法のなかで、県内の多くの事業所また県庁が採用しているのは、「女性活躍推進法」の行動計画に定められている、「ゴール・アンド・タイム・テーブル方式」です。例えば女性従業員の割合の増加について数値目標と達成期間をおよそ示し、自ら努力する方法です。「クォータ制(※)」は、審議会の女性委員の参加の比率を上げるため、県庁でこの手法が採用されています。PAの手法はいくつかありますが、課題は、各種事業所また県庁でPAが採用されているにもかかわらず、その内容と結果が県民の皆さんに伝わりにくい点です。国に対してだけでなく、「見える化」に努力して頂ければと感じています。

次に男女共同参画を阻害する暴力などへの対策についてはどうでしょうか。「参画を阻害する暴力」は、児童虐待、ストーカー、DV(デートDVを含む)、売買春、性犯罪、ハラスメントなど広範囲に及びます。県は、これらの課題に対して、被害者支援の取組を充実させてきました。児童相談所、「よりこ(みえ性暴力被害者支援センター)」、「フレンテみえ」、県警など多数の機関が携わっています。しかし、被害者が増加している現状から、従来よりも被害者支援をさらに充実することが必要です。まず女性相談員を含む相談員などの増加、また相談員などの資質の向上に継続的に取り組むことも必要ですし、同時に「相談室」の環境整備も無視出来ません。また被害者が潜在化しないように、被害者そして県民の方がセンターなどへ「アクセス」しやすい工夫も必要と思います。

最後に、雇用分野において女性が活躍できる環境はどうでしょうか。見方を変えると、男性また女性を問わず「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」の達成のこともいえます。県などは、研修会また講習会など周知面で努力し、取り組む事業所は増加していますが、テーマ自体があまりにも幅広く、とくに女性の「子育てとの両立」が中心になっている感じがします。この点、県または国が重視する「男性中心型の労働慣行の見直し」、例えば「残業」時間の減少あるいは転勤制度の再検討などを中心に具体的な方策をとることは、男性の育児参画、介護などにとって効果的なアプローチだと思えます。最近の「働き方改革」の動きのなかで、同一労働同一賃金などが取り上げられていますが、具体的にどのような施策が打ち出されるのかなど、見守る必要があると思います。

次回の第3回目は、小川会長が県の男女共同参画について、日頃感じられておられることをご紹介します。

(※)クォータ制とは：積極的改善措置(ポジティブ・アクション)の手法の一つであり、人種や性別などを基準に一定の人数や比率を割り当てる制度のことです。
(参考：内閣府男女共同参画局HP)

執筆 佐伯 富樹さん

(前三重県男女共同参画審議会会長)

三重県の男女共同参画関係では、平成13年からアイリス21推進連携会議の副会長など委員として6年間、平成21年から男女共同参画会議の会長など委員を8年間務める。専門は国際法。三重大学名誉教授、三重大学名誉教授。

フレンテみえって、なに?

三重県の男女共同参画社会を推進する拠点施設として津市の三重県総合文化センター内に平成6年オープン。情報発信・研修学習・相談・調査研究・参画交流という「5本の柱」で、様々な事業を展開しています。ぜひ皆さま、お気軽にお立ち寄りください!

～詳しい情報はホームページまで～

フレンテみえ

検索

生き方・家族・人間関係・離婚・職場 などなど...
男女がともに自分らしく生きるために、様々な悩みの相談をお受けします

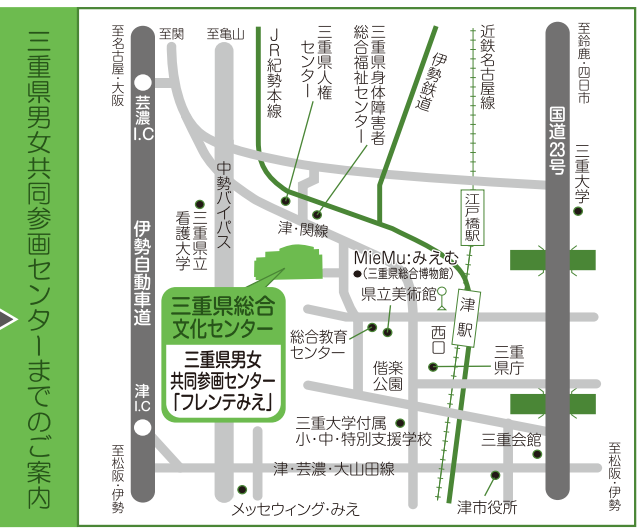
女性のための電話相談 秘密厳守・相談無料

フレンテみえ相談室 専用ダイヤル 059-233-1133

相談時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日
朝 9:00~12:00	休館日	●	●	●	●	●	●	●
昼 13:00~15:30	休館日	●	—	—	—	●	●	●
夜 17:00~19:00	※	—	—	●	—	—	—	—

※祝日の場合「朝・昼」相談あり(翌平日が休館日)

※このほか、女性のための面接相談
※津市相談室(津市)でのための電話相談
詳しくはホームページをご覧ください



休館日 毎週月曜日 年末年始 (12月29日から1月3日まで)
交通 ■バス/津駅西口1番のりばから約5分
■徒歩/津駅西口から約25分
■自家用車/伊勢自動車道雲濃インターから約15分、津インターから約10分
※駐車場は1400台(無料)。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

発行 三重県総合文化センター
三重県男女共同参画センター フレンテみえ
〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地
TEL:059-233-1130 FAX:059-233-1135
URL http://www.center-mie.or.jp/frente/
E-mail: frente@center-mie.or.jp

再生紙を使用しています。 Design : Graphica

フレンテみえ相談室のご案内 (切り取ってご利用ください)